

偽三位一体へのさばき

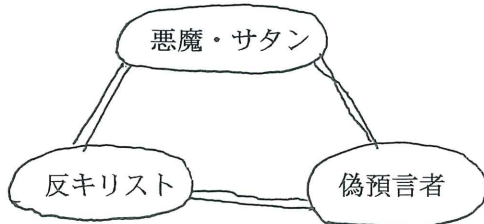
2026年8月30日

ヨハネの黙示録 19章19節～20章3節
ダニエル書 12章1～13節

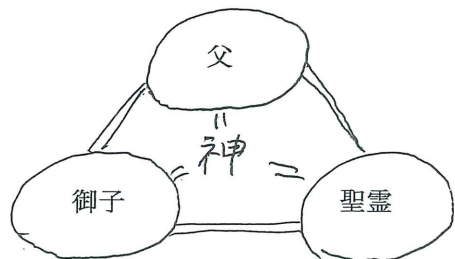
序：

人類の世界の歴史のクライマックスは終末
終末のクライマックス＝ハルマゲドンの戦いとキリストの地上再臨（8つの段階）
①反キリスト同盟軍の召集（ハルマゲドン：イスレエル平原）
②バビロンの滅亡（世界統一宗教的勢力 17章・世界大政治的勢力 18章）
③エルサレムの陥落
④ボツラに攻め入る反キリストの軍勢
⑤イスラエルの国家的新生
⑥キリストの地上再臨
⑦ボツラ～ヨシャパテの谷に至る戦い
⑧オリーブ山に勝利の主が立つ

I. 偽三位一体（黙示 13章）



聖三位一体



II. 地上再臨とその結果

黙示 19・11～18	キリストの地上再臨
19・19	ハルマゲドンの戦い（要約） 反キリスト VS 主キリスト
19・20	反キリストと偽預言者捕らえられ、火の池に投下
19・21	異邦人の全軍勢撲滅、死骸に群がる鳥（猛禽類＋）
20・1～3	悪魔（サタン・竜・古い蛇）捕縛され、底知れぬ所に投下、封印、1000年間閉じ込められる

(1) 獣（反キリスト、不法の人、滅びの子）

にせ預言者（獣の権威を働かせ、獣の像を造り拝ませた、人々に刻印を受けさせた）

テサロニケⅡ 2・3～12

黙示録 13・1～18

この二者は捕らえられ、硫黄の燃える火の池（地獄）に生きたまま投下

(2)悪魔（サタン・竜・古い蛇）

鎖で縛られ、底知れぬところに投げ込まれ、封印され、千年間は活動不可能
千年王国（メシア王国）には不在、影響を与えることはできない

千年後、解き放たれて、最後の反乱、焼き尽くされて火と硫黄の池（地獄）へ
20・7～10

×

Ⅲ. 大患難期の終わり＝イエス・キリストの再臨 ⇒ 千年王国（地上・天国）

ダニエル 12・1～13

(1)大患難期の終了と千年王国の始まりには75日の移行期間がある

7節 ひと時とふた時と半時＝3年半、42ヶ月、1260日（患難期後半）

11節 1290日（反キリスト像が神殿に、ユダヤ人の礼拝禁止）1260日+30日

12節 1335日（患難期後半 1290日+45日）

(2)その間に旧約の聖徒・患難期の聖徒が復活する（第一の復活・信者のみ）

第一の復活

*①イエス・キリスト（初穂）

*②教会時代の（新約の）聖徒たち

*③患難期中間のふたりの証人

④旧約時代の聖徒たち

⑤患難期に殉教した聖徒たち

Ⅳ. 結び

(1)ハルマゲドンの結果、反キリストとにせ預言者と彼らに組した指導者たち、全軍勢は滅ぼされる 反キリストとにせ預言者はふたりとも火と硫黄の燃える池（地獄）に生きたまま投げ込まれる

(2)悪魔は千年の間、底知れぬところに閉じ籠められる。千年王国に害を加えることはできない。千年後に解き放たれ、最後の戦いに挑むが、敗北、地獄に投下

(3)大患難期終了～千年王国開始の間には75日の移行期間がある

(4)千年王国に入るのは、主イエス・キリスト、新約時代の聖徒、二人の証人、旧約の聖徒、患難期の殉教者たち。復活して千年王国に集められる